

ご挨拶



函商同窓会の支援に感謝！

校長 佐藤 恵一

函商同窓会の皆様には、日ごろより、本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げますとともに、この度の函商同窓会会報『五稜ヶ丘』の発行を心よりお祝い申し上げます。今号は67号と伺いし、今日まで継続して会報を発行されてきた皆様の深き思いと母校の活躍への熱き願いとが重なりまして、感無量であります。皆様のご尽力、ご活躍につきまして、心から敬意を表します。

私は、今年度、留萌管内の苫前商業高等学校から着任いたしました佐藤恵一と申します。微力ながら、函商のために進進いたす所存でおります。何卒よろしくお願い申し上げます。

おかげさまで、4月8日(月)、ご来賓として同窓会長 中村ひでの様をはじめ、多くの同窓会役員の皆様のご臨席を賜り、160名の新入生を迎え、無事入学式を挙行することができました。

今年度の函商は、1年生

160名(男子54名・女子106名)、2年生157名(男子49名・女子108名)、3年生155名(男子52名・女子103名)、全校生徒472名(男子155名・女子317名)でスタートいたしました。

年度当初、PTAの役員会を開催いたしましたおりに、今年度はコロナ禍の前のような活動がしたいということとで、様々な取り組みを元に戻せるよう行っていきたいと話し合われました。そうしたご協力のもと開催いたしました北辰祭では、最終日のフィナーレを飾る花火をはじめ、クラスごとに工夫を凝らした取り組みが多くみられ、大いに盛り上がりました。

部活動においては、女子バレーボール部が25年ぶりにインターハイ予選において優勝し、釧路市で開催された全道大会に進出したのはじめ、陸上部・水泳部、女子サッカー同好会・ソフトテニス部、写真部、合唱部も支部大

会を突破、多くの後輩たちが全道大会に出場し、函商の名を轟かせました。商業の各部門の競技大会においても珠算部が上位入賞を果たし、全国大会に出場。英語スピーチコンテスト北海道予選大会において、スピーチの部(自分で原稿を用意して英語で発表)で本校史上初の優勝を成し遂げ、全国大会に出場しました。簿記部も第1回大会となる日商簿記甲子園において、道予選を突破し、全国大会へと足を運びました。

ここで紹介することができなかった部活動においても、暑い夏休みも含め、毎日練習に取り組んでおりました。今後子どもたちが頑張れるように支援していきたいと思っております。

昨年度は、全国商業高等学校協会(全商)主催の各種検定試験3種目以上1級取得者を82名輩出しました。これはまさしく子どもたちの頑張りがあってこそですが、この頑張りは、保護者の皆様のご支

援と、先生方の日ごろからの熱心な指導の成果でもあると考えております。函商の生徒・保護者・教員が力を合わせた三位一体の頑張りは、地域・各界の関係者からも高い評価をいただいております。

更に、創立138年を迎える伝統ある学校として、日商簿記、リテールマーケティング、基本情報技術者試験をはじめ、様々な上位の資格取得をめざし、大きな成果を上げて続けており、「土魂商才」の函商ここにありと、全国に名前を轟かせています。これも生徒・保護者・教員が力を合わせた三位一体の頑張りが学校体制として定着している証しだと思っております。

本校の就職希望者の就職率は一〇〇%であります。ほかに、進学希望者においては、小樽商科大学に1名、公立はこだて未来大学に1名、高崎商科大学に1名をはじめ、地元函館大学に7名合格するなど、就職に劣らず大きな成果を上げております。最近の

傾向としては、就職・進学割合が、ほぼ半々となってきております。

本校のこうした取り組みの充実、毎年の大きな成果は、何よりも同窓の皆様のご支援の賜物と考えております。この良き伝統を引き継ぐためにも、在校生には頑張ってもらいたいと思っています。

また、令和6年6月22日・函商札幌同窓会総会、7月6日・東京函商同窓会総会、7月21日、本部函商同窓会総会にお招きいただき、ありがとうございます。それぞれの総会では、とても温かく迎えていただき、本校の様子や後輩たちの活躍をたくさんお話することができました。楽しいひとときを過ごさせていただき、本当にありがとうございます。

いよいよ2年後には140周年を迎えます。9月3日に準備委員会を設立し、来る2月には協賛会を立ち上げる予定です。その際は、たくさん同窓会の皆様方のお力添えをお願いいたします。

結びに、函商同窓会の今後益々のご隆盛・ご発展と同窓生の皆様のご健勝・ご活躍を祈念し、挨拶いたします。